

授業改善等に関する報告書（2019年度前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎演習2	渡辺 敏	月曜日の1限ということもあり、時間通りの出席が難しかった面があるようです。グループでの作業も多かったため授業の進め方に難しさはありました。アンケートの結果を踏まえ授業改善に努めます。
カリキュラム論b	田中 正浩	全体として平均的な評価を得てはいるが、受講生の目線で工夫・改善すべき点は多くあると感じている。本教科での学習内容が、受講生の今後の保育活動に直結することを考えれば、受講生の理解度を高め、より満足できる授業をめざしていきたい。
教育実習指導（小学校）	南雲 成二、渡辺 敏	教育実習指導（小学校）通年30回中、前期15回。1年生で履修した「国語」「国語科教育法」「教育方法・技術」の学習内容、2年生で履修した「特別活動の指導法」「保育・教育の実際」「児童指導法」「小学校教科教育法＜算・生・社・理・音・図・家・体＞一部3年」、3年生で履修した「総合的な学習」「小学校外国語（英語）」「道徳の指導法」「カリキュラム論a」等。これらの学習内容を基礎・基本としながら、実習配置決定校の過去2年間「学校ホームページ」の読解・研究と紹介交流、学校ボランティアの体験報告交流等を通して、よく取り組んでくれました。9月～11月まで実際の「教育実習」で実践的に学び、後半は実習ノートを中心に教師の仕事、専門職の具体をさらに深めていきます。体験でこそ学びは深まります。また、貴重な体験から基礎基本となる経験を整理していきましょう。この学びが4年生の卒論制作や7月に実施される都道府県別小学校教員採用試験基盤整備へとつながります。
教職論	田中 正浩	全体として良好な評価を得てはいるが、受講生のモチベーションの高さにも助けられている。前年度同様、配付資料については受講生の目線で工夫をする必要があるだろう。受講生が自身の成長を実感できる、満足の高い授業をめざし、さらに改善していきたい。
保育活動の実際a	越山 沙千子	半期ありがとうございました。1人1人にかかわる時間が少ない中、一生懸命取り組んでくださったことがとてもうれしかったです。自己評価が3.79なので、自分の現段階の成長をもう少し認めていただいても良いかと思えます（うそやお世辞は言っていないので…）。しかし、自分自身で自信をつかむためには、継続していくこととチャレンジすることが何よりも大切です。今後も弾き歌いを継続していただきたいのと、子どもや友人、家族と一緒に歌ってみてください。それから、心動く体験を多くしてほしいと思えます。
保育活動の実際a	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。見えないところでコツコツ努力している学生も多く、こちらも勉強になりました。自己評価が3.6なので、自分の現段階の成長をもう少し認めていただいても良いかと思えます。しかし、自分でこれくらいでいいやという気持ちでいると、伸びるものも伸びなくなりますので、こだわりをもって取り組んでもらえると良いのではないかと思います。今後も弾き歌いを継続してほしいのと、心動く体験をたくさんしてほしいと思っています。
社会的養護	高橋 誠一郎	現在、社会的養護の制度改革が進行中で、前期の間にも制度が変わり複雑なところもあったと思っています。社会的養護への理解を深めるために、視覚教材なども使ったり、施設見学をしたり、実践的な授業を組み立てたつもりではありますが、引き続き理解を深める工夫が必要と感じています。翌年の社会的養護内容の授業を通して、より実践的に子どもの育ちに関わることにについて、深めていきたいと思っています。
社会	田中 正浩	全体的には良好な評価を得てはいるが、板書や配付資料において受講生の目線で工夫をする必要があると感じている。評価結果を踏まえ、受講生が自身の成長を実感できるような授業をめざして、工夫、改善していきたい。
家庭経営論1	高橋 桂子	社会・経済に関する新しい講義でしたね。よく頑張ってくれてきました。講義資料は、前日までに配布するようにします。ますます頑張ってください。
社会的養護内容	高橋 誠一郎	児童虐待が主な入所理由となっている社会的養護の現在の現場で、実際に問題になっていることや取り組まれていることを、事例を通して扱うことができました。少人数でのディスカッションを通して、課題について理解を深め、この授業の基礎である社会的養護の6つの指針について習得できたのではないのでしょうか。特に子どもの支援について、個別化し家族関係や地域資源も視野に入れながら考える、ソーシャルワーク的なケースの見立てについては十分にできたと感じています。今後の施設実習につなげ、皆さんの学びがより深まることを心から期待しております。
生活文化史1	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、声や言葉等の聞き取りやすさやPPTの作成に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家族関係論	細江 容子	声や言葉等の聞き取りやすさや説明スピード等に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
心理学研究法 1	中山 友則, 作田 由衣子	研究法を学ぶ授業でしたが、パソコンの使い方に関しては知識に個人差もあり工夫が必要だと思いました。また、小テストなども挟みながら進めていきましたが、まだよくわからないことも多いかと思います。後期の心理学研究法2では、前期の内容と重なるところもありますが、統計法が主になってきますので、前期で学んだことも生かしながら頑張りましょう。
保育・教育指導の基礎	松田 純子, 井口 眞美, 渡辺 毎	前期は、幼稚園、小学校、児童館と様々な現場の様子を観察する機会をもちました。また、そこでの気づきを発表する機会を設け、学びを共有することもできたと考えています。グループワークの様子を見ていても、チームワーク良く取り組めるみなさんですので、今後も、「仲間と共に学び合う」姿勢を大切にしてください。
教育思想史	田中 正浩	履修者なし
保育・教育指導の実際	井口 眞美, 南雲 成二, 大澤 朋子, 山下 晶子	初めての保育所見学で保育現場の様子を知ることができたかと思います。この学びを後期の幼稚園見学、こどもまつりへの参加に生かしてください。（幼小コース専攻の方々へ）日野市立第七小学校への訪問・参観学習、とても実り豊かなものになりました。原副校長先生からのメッセージも小林校長先からのメッセージもとても大切でした。＜皆さんの参加参観の姿勢・態度が素晴らしかったからです。＞ 学習の主役である子どもとと学級・学年の先生方、図書室や保健室の先生方との交流も素敵な財産となりました。
保育者論	田中 正浩	全体として平均的な評価を得てはいるが、受講者の満足度が低調であることに授業者自身反省し、改善に努めたいと考えている。まずは、これまで以上に双方向的な授業にし、板書や配付資料においても受講生の目線で工夫をしていきたい。今後は、適度な課題によって本教科への意識を高め、受講生の理解度をあげるようにもしていきたい。
保育原理 1	松田 純子	「保育原理 1」は、保育士資格や幼稚園教諭免許取得のための必修科目です。保育所保育指針や幼稚園教育要領の改定（改訂）に伴う保育士養成や幼稚園教諭養成のカリキュラム改訂のために、今年度より「保育原理 1」の授業の内容も、保育の制度や法令に関する内容が増えました。具体的な子どもの姿から離れた、少々かたい話題も多かったかと思いますが、受講生の皆さんは、それらも保育の基本として大切な学習と自覚して授業に臨んでくれたようで嬉しく思います。今後は、その部分もより分かりやすく伝えられるように授業を工夫したいと思います。またもう少し皆さんの声を反映した授業づくりを行いたいと考えています。
教育学演習	南雲 成二	「教育学演習」は、皆さんの夢の実現を叶える「小学校教員採用試験一次・二次対策学習」とも密接に関係しています。受講生の方々のたゆみない努力によって、履修者各自が「教育学演習」の学習を活かし、一都三県二政令都市（合計7名全員）の一次試験を突破し、それぞれの二次試験に挑戦できました。結果は10月中旬ですが、教育学演習でみせたファイト、是非卒論作成にも繋げてください。
生活文化概論	田中 正浩, 高橋 桂子, 水野 いずみ, 松田 純子, 塚原 拓馬, 井口 眞美, 南雲 成二, 細江 容子, 渡辺 敏, 長崎 勤, 作田 由衣子, 島崎 あかね, 大澤 朋子, 塩川 宏郷	発達行動小児科学について、障害の社会モデルについて授業を行いました。学生たちの抱く子どものイメージとを今後レポートから分析し次の授業に生かしていきます。小学校6年間（初等教育実践）の「ことばの学習室づくり」を中心に保幼小連携・接続の観点や、小中高連携・接続・一貫の観点からもこどもの言語生活の確かさと豊かさを紡ぎ出していくうえで大切な言語活動の充実（言語能力のとらえと伸長の手立て等）について考えました。この発展は、参加者一人ひとりの学生さんと共に演習を中心に追求・探究していきたいです。（南雲）
ゼミナール	島崎 あかね	前期のゼミナールでは、全員で1冊の新書を読み要約する、という課題を通して、文章をまとめる力や人に伝える文章の書き方などを学びました。題材とした新書は少しわかりにくい内容でしたが、それをまとめることでわからないことを調べたり、自分なりに解釈する方法を見出すことができたと思うので、後期から自分の興味関心のあるテーマに沿った先行研究を集め、そこから来年度の卒業論文の作成に向けた研究テーマの構築につなげていきたいと思います。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	南雲 成二	ゼミナールでの取り組みを活かし、9月に迫った「小学校教育実習4週間」をより意味あるものに高めて（深めて）いきましょう。各自の卒論テーマも少しずつ見えてきました。例えば、学び手一人ひとりの言語生活力（言語能力）を育成していくうえで、より適切に伸ばしていくうえで、小学校の国語科や英語はどのような言語活動を組織していくことが大切なのでしょう？関連して「算数学習語彙・理科学習語彙・社会科学習語彙の効果的な習得と習熟」の課題や、主体的で対話的で深い学びを実現していくうえで、どう表現力・コミュニケーション力を伸ばしていったらいいのでしょうか。例えば音楽表現力で、造形絵画表現力で身体的体育的表現力で、生活文化力としての家庭科実践力で…。さあ、いよいよ後期につづくですね。4年生の卒論中間発表会は、その為の学びの宝庫です。
ゼミナール	渡辺 敏	アンケート結果を踏まえ、授業改善に努めます。
フィールドワーク2	水野 いずみ, 作田 由衣子 井上 宏子, 塩川 宏郷	精神保健福祉センターを訪問し、精神保健福祉士のレクチャーを受けましたが、事前に学習していたにもかかわらず当日の質疑低調だったことが残念です。一層の努力を期待します。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	毎回の講義ではできるだけポイントを絞って集中しやすいように工夫をしました。配布資料は事前に目を通していただくことを前提に行っています。全体的に学習効果は不十分と思われるので、今後は毎回小テストを行うなどして知識の定着に努めたいと思います。
生活経済論演習	高橋 桂子	評価ありがとうございます。 「本格的な」企業訪問が経験できてよかった、というコメントを沢山頂戴しました。その割には授業満足度がそれほど高くないようです。そのギャップは何だろうか。
教育心理学	長崎 勤	教育心理学についての最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な教育の問題に関心を持ってもらえればと思います。
生活と法・社会制度	数野 昌三	普段聞き慣れない法律について、六法を買い求め、家族法を中心に授業してきました。受講生数は4名でしたが、熱心な受講態度にこちらも熱が入りました。いつか将来役に立つことがあると言いたいところですが、必要がないのが1番です。法律問題が発生したら、自分で判断せず、プロに相談することが良いでしょう。
図画工作	井口 眞美	時間配分についてうまくいかなかった点は今後の課題としたいと思っています。個性を發揮し、自分らしい表現を心がけていた姿勢には好感がもてました。
保育実習指導2	松田 純子 大澤 朋子	「保育実習指導2」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者もいませんでしたので、コメントは後期にまとめてします。
図画工作	井口 眞美	時間配分についてうまくいかなかった点は今後の課題としたいと思っています。個性を發揮し、自分らしい表現を心がけていた姿勢には好感がもてました。
保育実習指導1	松田 純子 大澤 朋子	「保育実習指導1」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は1名いましたが、後期にまとめてコメントします。
児童教育法	津田 ひろみ 南雲 成二 渡辺 敏	児童教育法（通年30回中、前期15回分）、みなさんよく努力して「小学校版学級・学年経営案＜第1学年～第6学年＞」の作成、その第一段階に着手できました。「保育・教育の実際」における現実の小学校訪問・参観学習や、「特別活動の指導法」の学習ともよく関連づけてアプローチできていました。とても嬉しい結果です。3年生で履修する「カリキュラム論a」や「教育実習指導」や「小学校13教科の教科教育法」、さあ、いよいよ夢に向かって前進です。JISSEN CAMPUS GUIDE BOOK 2020 p004 p011にあるように『未来はワタシのなかにある』『気づく・伸ばす・活かす』です。専攻チーム力をパワーアップし、協働力を發揮しあっていきましょう。（南雲より）
ゼミナール	井口 眞美	後期には、保育園での学外実習を予定しています。常盤祭での活動も含め、専門性の獲得を目指し、頑張ってください。
ゼミナール	塩川 宏郷	毎回、一人1論文紹介という形式で討論を行いました。一人一人が興味深い論文を読んできました。前期では25編ほどの論文を読み情報を共有し、研究とは何か、論文とはどのような形式なのかを学習することができたと思います。後期は、自分の研究テーマを絞り込むことを目標に行います。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	高橋 桂子	よく頑張っています。 この調子で、後期はさらにアップしていきましょう。
ゼミナール	田中 正浩	ゼミナールにおける授業アンケートの回答は得られていない。
ゼミナール	長崎 勤	臨床の経験を生かし、興味を持ったテーマについて、文献の検索、文献研究を進めてください。
ゼミナール	細江 容子	ゼミであり、学生の興味関心が高い個々のテーマによりゼミを実施するので、学生たちの授業態度は度極めて熱心である。今後さらに様々な教育学的手法を用いるなどして、学生の講義内容への理解が深まるように改善していきたい。
ゼミナール	松田 純子	「ゼミナール」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者が1名いましたが、後期にまとめてコメントします。
ゼミナール	作田 由衣子	おおむねポジティブな評価でしたが、お二人しか回答していなかったため、次はもう少し回答を促したいと思います。 普段のゼミ活動では全員とても意欲的に取り組んでいると感じます。後期からは実験や調査を開始しますので、ぜひ早めに準備を開始するようにしてください。
家庭支援論	大澤 朋子	授業内でアンケートの時間を取り忘れてしまったので、回答者がほとんどありませんでした。後期の必修科目では回答時間を取るようになります。
教育学概論	田中 正浩	全体として芳しくない評価として受け止めている。受講生にとって自身の成長が実感でき、満足度の高い授業になるように、より双方向的にし、板書や配付資料をわかりやすく工夫するなど改善に努めたい。
カリキュラム論 a	南雲 成二	「平成29年告示版小学校学習指導要領」（本編、総論解説編、国語・算数・生活・社会・理科・音楽・図工・家庭・体育、小学校外国語（英語）・道徳・特活・総合的な学習の時間＝合計13教科）を丁寧によく学習してくれました。カリキュラム＝学習指導要領ではありませんが、重要な一部です。ここに戦後74年目の歴史学習も加わりました。昭和22年版、S26年版、S33年版、S43年版、S53年版、S63年版（＝平成元年版）、H10年版、H20年版、特に平成20年版との比較研究は大切でした。移行措置も2019年で終わり、2020年度は完全実施になることをしっかりと把握・理解してくれました。この基礎学習が大学3年生後期の「小学校教育実習4週間」の土台・基盤となります。9名全員がよくやりました。
基礎演習2	作田 由衣子	レポートなどの課題も多く、大変だったかと思います。一つ一つの疑問を解決しながら確実に課題をこなしていってもらえればと思います。 パソコンでの作業については、細かいコツなどが非常に多く、そのすべてを授業内で伝えるのは現実的ではないと思います（パソコン教室になってしまいます）。ぜひワードやエクセルの使い方の本やウェブサイトなどを調べて少しずつ覚えていってください。
算数	渡辺 敏	アンケート結果を踏まえ、授業改善に努めます
生涯発達心理学 a	塚原 拓馬	概ね平均以上の評価を頂いた。今後も更に授業改善に努めたい。
社会心理学2	水野 いずみ	2年生後期の社会心理学1をふまえて、意欲的に取り組むことができていました。
家族社会学	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、さらにアクティブラーニング手法等を用いるなどして、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
生活心理研究計画法	長崎 勤	夏休み中の実習体験を踏まえて、今後の進路・進学計画を進めてください。
認知心理学 b	作田 由衣子	認知心理学aよりも難しかったとのコメントが見られました。1年生の科目よりも難しい内容になるのはある程度当然かと思います。また、授業はあくまでも様々なトピックスの紹介であり、学問の入り口ですので、わからないことやもっと知りたいことがあればぜひどんどん教員に聞いたり本を読んだりしてください。 この学期は、例年よりも授業の内容をよく聞いておらず、最後のコメントに不正確な内容を書く学生が目立ったように思います。こちらは内容の正確さもチェックしていますので、授業中はきちんと話を聞いてください。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
消費者安全論演習	高橋 桂子	教育実習に向かって一直線の授業でした。方向性が明確なので、集中して講義に取り組みました。成果も出ているようで、担当教員としても嬉しい限りです。
育児学	於保 祐子	育児の実際の資料を示すことを心がけました。育児について、具体的なイメージを持ってもらえたら幸いです。育児に母として携わる人と保育に携わる人がおり、両方の状況に合わせた授業は作りにくいですが、なるべくわかりやすくしたいと思います。
特別活動の指導法	南雲 成二	幼児保育「幼小コース」専攻の皆さんへ（南雲） 小学校教育実践における「特別活動」の役割とその歴史等について、よく理解を深め、自分自身の小学校体験も対象化して学習に取り組んでくれて心強く感じました。学級・学年経営案<試案>の作成も、実際の学級活動の「学習（授業）指導案」の作成もよくできていました。2年生の児童教育法の中でぜひ「模擬授業会」をやりましょう。
保育内容 a（総論）	井口 眞美	この授業では、実際の保育現場の様子がイメージできるよう、視聴覚教材を多用しました。また、みなさんの保育観を具体化するためにも、特徴的な保育の実例を積極的に紹介するよう心がけました。 今後、自分はどうの保育をしてみたいか、保育者になるにあたって、どのような保育者になりたいかを、時折考えながら、学習を進めてもらえたらと願っています。
生活	松田 純子 渡辺 敏	「生活」の授業は、渡辺敏先生主体で行われ、松田の授業回数は1回のみでした。全体に実践的な授業で、受講生のみなさんの満足度も高く、自由記述回答からは、実際に経験することを通して理解が深まった様子が伺えました。今後実際に保育者・教員だったら…の視点を持ちながら、主体的に授業に臨んでください。（松田純子） アンケートの結果を踏まえ授業改善に努めます。（渡辺敏）
家族臨床心理学 1	稲森 絵美子	「家族」をキーワードに、その中で成長する私たちの心理学的課題を、誕生から老いに至まで、共に学んできました。授業の中で、学生のみなさんに質問をした際には、それぞれが自分の考えを積極的に発表できる力をもっていると感じました。 試験は、書く内容が多くて大変だったでしょうか？ レジュメをしっかり完成させて試験に備えたことで、きっとみなさんの知識や理解も深まったと思います。
家族心理学	長崎 勤	家族心理学についての最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族の問題に関心を持ってもらえればと思います。
医学概論	塩川 宏郷	精神医学の基本的な事項と、精神疾患とその治療について学習しました。授業効果は比較的良好だと思います。今後は、症例検討を行うなど、アクティブラーニングを取り入れていきたいと思っています。
家族心理学特論	稲森 絵美子	NICUとこころのケアという、あまり日常的でない医療現場でのトピックから、子どもを生み育てるとはどういうことか、共に学んできました。ディスカッションを通して、自分の他の人の考えとの違いに気づいたり考えを深めたりすることができたのではないのでしょうか。皆さんの積極的な授業への参加、感謝します。
家族心理学演習	稲森 絵美子	学生のみなさん一人一人が、授業に積極的に参加してくれました。そして、それぞれが自分自身について気づきを深められたのではないかなと感じています。これからの人生の中で、この授業を通して学んだカウンセリングマインドを、是非いかしてもらえたらと願っています。自分と相手をより深く理解することで、人生はより豊かなものになると思います。
体育	島崎 あかね	幼稚園、保育所での運動あそびの必要性を知識として理解するだけでなく、実技の体験を通してその方法を身につけ、実習等で実践できる力を養うことが必要です。子どもの身体や運動能力、発達段階に応じた運動あそびの内容を計画できるように、講義や模擬授業で行ったそれぞれの運動あそびについて、しっかり振り返っておきましょう。
保育内容 d（ことば）	松田 純子	「保育内容d（ことば）」の試験結果をみると、授業内容は概ねよく理解されているように思います。演習授業ではありますが、押さえておくべき重要な知識や内容もあり、講義とグループワークや双方向のやり取りと半々の構成になっていたかと思います。もう少し予習課題を増やすことで演習の時間を多くすることができたかもしれません。今後、さらに双方向授業の工夫をしたいと思っています。アンケートの回答者数が少なかったことが残念でした。授業改善のためにも協力をお願いします。

[2019（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
体育	島崎 あかね	幼稚園、保育所での運動あそびの必要性を知識として理解するだけでなく、実技の体験を通してその方法を身につけ、実習等で実践できる力を養うことが必要です。子どもの身体や運動能力、発達段階に応じた運動あそびの内容を計画できるように、講義や模擬授業で行ったそれぞれの運動あそびについて、しっかり振り返っておきましょう。 幼稚園・保育所～小学校低学年といった、幼保小連携を視野に入れ、それぞれの動きの連続性・関連性についても振り返っておきましょう。
保育内容d（ことば）	松田 純子	「保育内容d（ことば）」の試験結果をみると、授業内容は概ねよく理解されているように思います。演習授業ではありますが、押さえておくべき重要な知識や内容もあり、講義とグループワークや双方向のやり取りと半々の構成になっていたかと思います。もう少し予習課題を増やすことで演習の時間を多くすることができたかもしれません。今後、さらに双方向授業の工夫をしたいと思います。アンケートの回答者数が少なかったことが残念でした。授業改善のためにも協力をお願いします。
家庭教育論	水野 いずみ	この授業を聴いて、さらに学びたいと感じられる授業を目指します。
臨床発達心理学 1	五味 美奈子	本科目は後期開講科目である「臨床発達心理学Ⅱ」において特別な支援が必要な子どもについて学ぶにあたり、発達心理学の基本を再確認しつつ、心理学的支援が求められる保育現場における子どもと保育者の姿から心理学的支援を学ぶことに重きを置きました。 基本的なことを学ぶことは時として退屈に感じられたかもしれません。その点は教員が今後工夫が必要になる点かと考えております。しかし、専門的知識を他職種の方、一般の方に伝えるためには伝える者が十分理解し、自分の言葉としていなければならないと思います。今後は、1、2年次に学んだこと、本科目、今後の学びを受講学生が結びつける力を養っていくことを望みます。
幼児教育法	井口 眞美 長谷川 恭子	音楽表現を中心とした、実践的な学びを得ることができたかと思えます。後期の模擬保育を通して、より実践的な力、専門性を身につけてください。
生涯発達心理学演習 a	塚原 拓馬	十分な回答数が得られなかったため、回答数の向上に努めたい。
生涯発達心理学演習 a	塚原 拓馬	大変高い満足度を頂いた。更に評価向上に努めていきたい。
心理調査・検査法 1	水野 いずみ 長崎 勤	検査法は心理支援の基盤になるものです。 しっかり、習得しておいてください。
臨床心理学 1	五味 美奈子	本科目は学生の受講態度などから関心が高いことを感じました。受講学生が学んだことを自分自身や身近な人と重ねていることに感心いたしました。科目の性質上、受講学生からの質問・感想になるべく応えられるよう努めました。十分でなかったこともあったかと思えます。その点は教員の今後の課題として検討していく必要があると考えております。 受講学生が関心を持って学びを深めていくことは大変喜ばしいことですが、ネットの情報も中には占いのものもありますので関連学会など出所の確かなものとしてください。今後更に深めていくためにぜひ専門書、研究雑誌を手にとってほしいと思います。大学図書館という恵まれた場がありますので積極的にご利用ください。
子どもの保健 2	塩川 宏郷	子どもの保健について、特に実際の保育現場を想定しながら行動面への対応、保護者対応などを演習形式で行いましたが、授業ごとのつながりが十分ではなかったので今後はさらに演習を取り入れて行いたいと思います。
子どもの保健 2	塩川 宏郷	子どもの保健について、特に実際の保育現場を想定しながら行動面への対応、保護者対応などを演習形式で行いましたが、授業ごとのつながりが十分ではなかったので今後はさらに演習を取り入れて行いたいと思います。
健康科学論 a（女性の体と心）	塩川 宏郷	女性の身体的・精神的な発達およびその機能の不全や疾病について概説いたしました。ライフステージに応じて問題点を整理し縦断的に一生を俯瞰できるように工夫しましたが、さらに横断的な視点で、女性特有の疾患について詳述できればよいと感じています。